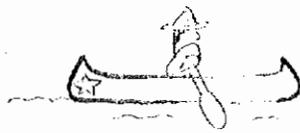


京都第38回 D-バ-隊

昭和55年度

活動報告書



昭55/9月 ~ 昭56/8月

< 目 次 >

①	はじめに	-1-
②	隊集会のあらまし	-2-
③	出席状況	-3-
④	D-バ-隊集会・議事録、通信	-4-
(1)	昭和55年9月21日	大藪(完) -5-
(2)	12月14日	松原 -7-
(3)	昭和56年1月11日	山川 -9-
(4)	3月15日	西村 -11-
(5)	4月12日	大藪隊長 -13-
(6)	5月10日	松原 -17-
(7)	6月14日	中西 -19-
(8)	7月12日	大藪隊長 -21-
(9)	8月6日	松原 -23-
⑤	一年E振り返り(2)	-26-
(1)	昭和56年度にふた	-27-
(2)	"一年E振り返り2"	-28-
(3)	写真集	-29-
⑥	その他	-32-

① はじめに

昨年度の活動報告書を出した目的は、主に  
ロバ隊が 蘭 に隠れ河をやらしているのか  
を知ってもらうことでした。

今年、活動報告書も、ちっとも団会議には  
Rs隊長が出席しないから、Rs隊の今年度の  
活動を知ってもらうことが大目的と割り算。

しかし今年は、  
もう一歩進んだ気が  
します。



それは 毎月一回の隊集会と、その報告書の刊  
行なく、「ローバのゴトのウツ」を読んだ感想  
や、各スカウトの雑感や自主的に発行され  
て来たもの。

書いたスカウトも 今から読んだスカウトも、  
ひ「河を考之、今河を可なきか」とい、くり  
語らば考之を欲しいと思ひます。

1981年8月末

昭和55年度 38団 RS 会計決算書

昭和55年9月1日～昭和56年7月31日

収入の部		支出の部	
<u>&lt;経常収入&gt;</u>		<u>&lt;経常支出&gt;</u> 歓迎一泊を含む	
前年度繰越金	15140	交通費	6010
隊費	26400	通信費(TEL+明+封筒)	3435
(小計)	41540	食費(歓迎一泊)	5586
		備品(カヌー等)	1700
<u>&lt;臨時収入&gt;</u>		会議費	650
臨時収入	15750	その他	1500
(小計)	15750	(小計)	18881
		<u>&lt;特別支出&gt;</u> 年額	
		食費	9424
		備品(カヌー等)	250
		その他(手紙返却等)	6666
		(小計)	16340
		残高	22069
合計	57290	合計	57290

\*年の深奥大集合  
\*カヌー市売上

政府の灰色会計に拘らず、上記のとおり、緊縮財政、明郎会計  
を心掛けたつもりです。

Signature

松原暢彦

(3)

隊員名簿

役務	氏名	〒	住所	職業			
隊長	大藪 俊一	604	中京区千生坊城町 48-3 第2団地 2-1026	811-3305 日本P.E.I.C.			
役	氏名	学年・職	生年月日	〒	住所	父	母
会計 チーフ	松原 暢彦	同社 2					
	古田 聡	教大 2					
	大嶋 福成	会社員					
	河原 昌史	同社 2					
	塚上 公昭	高 1					
	高城 正典	会社員					
	山川 勝也	高 1					
	西村 浩行						
	中西 浩						
	中川 義雄	職 1					
	五十嵐 達志	大高 3					
	大藪 完爾	大高 3					

-35-

2 隊集会 ありまし

☆ RS 隊集会は基本的に

● 月一回 第二日曜の夜 19:30 ~

を計 11 回行なつたこと(予定外)。この隊集会。内容は

● 毎回異なる担当者の報告書  
を中々各々に対して返さる ことと進行されて。

☆ 来月の予定は

● 10月 新入 - 大藪完、五十嵐、重達一様へ

のための - 泊平(カワ)。(昔年隊)

● 3月 卒業・入学。等 大藪完 - 泊 (比較年)

☆ 国行費は 隊員へ

● 11月 報恩誌

● 12月 平の隊大集会、大藪完 隊員店  
に参る 大藪完 参る。

☆ 今後の予定は

● 出陣準備が完了した。

● 内容が準備できた  
この点、今後の予定は ありたい。

-2-

3 出席状況

	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16
隊長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
松原	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉田				○												
大島																
河原	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塚上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高城	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
五十嵐	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大森	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

△ 報告担当者

△ " " 不参加の人

4 ローバー隊議事録 通信

『ローバー隊通信』 BOY SCOUT OF KYOTO  
SEP. 38 ROVER

① 9月隊集会 記録書

- \* 1980年9月21日 (SUN) PM 7:30 ~ 10:00
- \* ハウス長休 小部屋にて.
- \* 出席者 - 隊長, 松原, 中西, 山川, 河原, 大数, 五代

② <1> 『ローバー隊通信』は隊集会ごとに随時交代する。  
——<今回は大数君>

<2> 追出し歓迎 1日17. について.

10月11日(土) ~ 12日(日)に決定!!

集合時間 11日 PM 3:15 出町柳集合 (3:39 特急特のバス)

場所 藤原CAMP場

- 持ち物.
- 1日装備, 非常食 (缶詰め, ビスケット etc...)
  - 紅茶 & 砂糖 (1人分) 米 (2名以上)
  - ブキ 食器 コップ etc... 雨服.
  - コッフェル ... 河原, 大数.
  - フエース ... 河原 プランガス ... 五代, 大数
  - ハンゴ ... 隊長, 松原, 山川, 中西.
  - 天 幕 ... 山川, 大数, 五代 (古田君のテント)
  - 食 料 ... 松原.

MENU.

11日夜 鳥のからあげ & コンソメスープ & サラダ  
米飯 (雨天の場合は作れないので  
各自的当に非常食を持ってくること.)

12日朝 ししも, あざし, みぞれ, つけもの, のり,  
米飯.

解散 出町柳 各自解散

尚参加希望者は松原宅へTEL (19時ま

<3> 名簿作製の件.  
名簿は, 隊長が作製いたします.



隊と未納者は  
いまずぐ松原宅へ...!

以上

# MESSAGE FROM R.S 38

## <A> 12月定例隊集会

- 昭和55年12月4日(日) 7:30~10:00 p.m
- ハウス長休
- 出席者-- 松原, 山川, 中西

## <B> 12/14 調味料の配給

- 玉バック, 砂糖, 小麦(かご袋), サラダ油(1L)
- 他は, 19日に買い出し。(松原)

## <C> 模擬店

### (1) 材料

- メニュー --- 山川
- レモン --- 中西
- 紅茶 --- 買い手が種類(コンテナ, ジャム/etc) 選択することに決定。

### (2) 炊具

- ナベ --- おかまで代用
- ガン(缶) --- C.Sから借りる(山川)
- ガスボンベ --- 山川?
- コンロ(缶) --- 未解決

## (3) プログラム

- 1:00 p.m R.S 集会
- 2:00 p.m セレモニー
- 3:00 p.m 模擬店 etc
- 5:45 p.m 終了

## <D> 出しもの

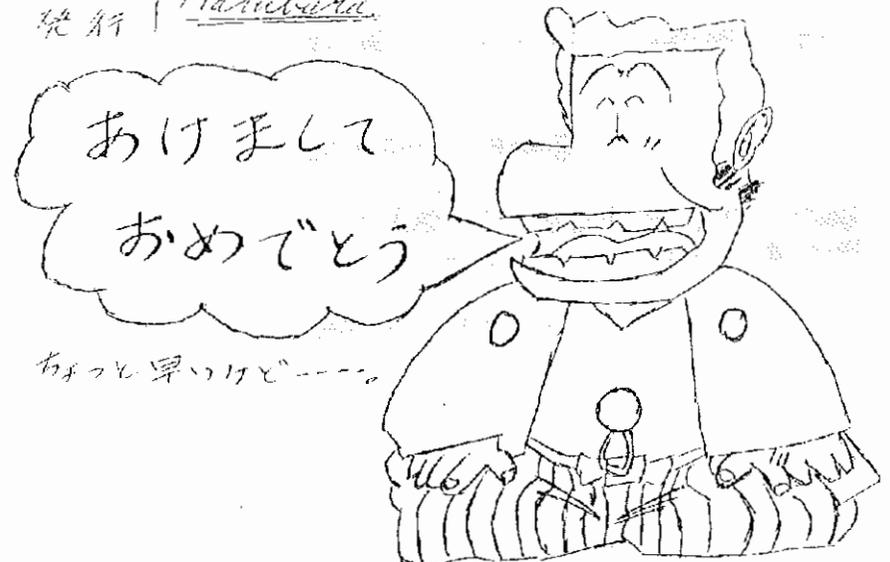
- 担当 --- ?
- ベニヤ --- ?
- スポンジ --- ?

## <E> 会計より一言

- 早ん年貢を納めよう!

1980年12月17日発行

記録 } Matsubara  
発行 }



## ★ 隊集会の報告

- (1) 日時  
1981年1月11日(日) 20:00 ~ 21:00 迄
- (2) 場所  
須原町今出川「じゅるだん」
- (3) 出席者  
大森隊長と山川隊員もけ。  
おし欠席が目立ちます。みなさん身をつけて下さい!
- (4) 議題  
特になし。

隊長は Hot Milk をのんで  
ボクは Hot ココア をのんだ。

## ★ ロードリングのサクセスを読んでおくこと!

次回の隊集会(3月15日)で話し合います。

19:30 ~ 長生寺 合わせなさいこと!

それから次回の隊集会では隊長がアメリカへ行った時の話を聞かせてくれるそうです。

・ロードリングのサクセスを精読のこと。

## ★ ロードリングのサクセスを読んで。 山川 勝也。

ロードリングのサクセスを読んだのですが20ページぐらいしか読んでいません。でもこれまでの自分なりの感想を書きます。

人生というものはまさにロードリングだということがわかりました。

自分で自分のカヌーを漕いで波にのりながらまた暗礁をよけながら。人生もこれとまったく同じです。自分は存在学生

なので学生を例にとります。学校というところはテストがあり

それ<sup>に</sup>合格するためには努力が1111します。つまりカヌーを漕いでいるのなら波や暗礁はテストである。波を乗り越えるためには

自分でかじのとり方を考えなければならぬ。それをしないと

波にまかれてしまう。テスト前にはテスト勉強をしなければならぬ。それと同じである。P37に書いてあるように暗<sup>礁</sup>と

明<sup>き</sup>の暗礁がある。波をのりながら暗<sup>礁</sup>の暗礁であり、波をのりきると<sup>き</sup>努力がなるとそれは明<sup>き</sup>の暗礁である。

明<sup>き</sup>の暗礁に出会うことそれは幸福であると思う。

暗<sup>礁</sup>を暗くするのも明<sup>き</sup>くするのも自分次第。快樂は幸福でない。

・みなさんどのように感じましたか?

THE END.

# ROVER 便り

[特別隊集会があるぞうだ!!]

日時: '56年3月22日(日)~3月23日(月)(昼過ぎまでには解散)

集合場所及び時間: 長休寺 P.M. 5:00

行き先: 比叡平の榎本&別荘です(バス・トイレ完備)

行事: 就職・入学・その他お祝いパーティー

<主催者側から一言>

- ・夕食 & 朝食も出ますので、みんなそろって楽しみましょう。一回みんな顔をそろえるのも 22やんか

持ち物

・シラフ・筆記具・食器・武器

洗面具(これは自由)非常食(何かあるやつ...)

\* 出席者は金曜日までに西村か中西宅まで電話して下さい  
(3/6)

西村 441-8954, 中西 701-6845 です

隊集会報告 3月15日(日)PM7:30~10:00 H長休

1) 近況報告

▷西村 - 産大に行きます。これから又やっか!!! になりま  
すのでよろしく!!



▷中西 - 私大は同志社に未判。国立は発表待ち  
これからよろしく!!

▷松原 - 二部→一部の編入試験に合格(商学部)

▷五十嵐 - 高校卒業しました。今BOYの副長補佐です  
ただ今お店で頑張っています。

▷河原 - 学校の都合で僕に春休み(7月)はホホ

2) 隊長のお話

・国際キャンプスタッフ派遣について

隊長の思い出話や牛焼きの方法など聞きました  
ヤキーの友達に任せますよ

兄弟は別々? または一回行ってみたら。

3) ロビンソン・ツワ・サクセスについて

次回の隊集会までにP.41まで読んでくること

これについて discussion します

ちなみに次回隊集会は...

3月とちが? 4月12日(日) P.M. 19:30 H長休の予定

その復帰の西村を以て  
乱筆乱文 こんばんは

<4月度隊集會 記録>

担当は 河原と西村。T.S.の13日と14日の記録。

(出席) 河原・西村・松原・山川  
大井博士

4月12日

(1) 連絡事項

平田君 入院中

一可法節のり

・出席

山川・松原

西村・河原 13日 隊集會の記録

(2) 各自の

<山川> 教習所からのご報告

大谷の CLUB - 平田君の手紙と先輩の報告  
作られた。Group 内の leadership について  
話があった。

Club では、山川君の答題気にはなるとも話された。  
若田の 1泊 Camp が多かった。夜話も始まった  
ようだ。「幸福とは何か？」を話された。

<西村> 入会式終了。初エッセイの準備中。

その方の報告の中は、わたくしは、進捗がよい。

合意の節には、2週間と、

2ヶ月の準備期間を、

1ヶ月の準備期間を、

1ヶ月の準備期間を、

Serial

河原、本日の報告に入水。

4/11/20

13日と14日の、Track Report について、  
1. 2. Pond Pin の状況

<松原> 一部の人々の質問に答える

その際、若田の質問に答える人々の話も  
ある。また、T.S. の記録の準備も  
進められている。

(3) Roving To Success と題して

河原

報告

Roving To Success について

報告があった。

報告があった。

報告があった。

(4) 13日と14日の、Track Report について

報告があった。

報告があった。

報告があった。

(5) 連絡事項、B.S.

(6) 13日、Japan - 13日と14日の、Track Report

報告があった。

報告があった。

昭和56年3月30日

北山地区各団団委員長殿

ボーイスカウト京都連盟  
京都第76団 RS隊  
隊長 今達孝昭

北山地区「一寸法師ラリー」のお知らせ

三指

各団におかれましては、益々の御活躍のことと御喜び申し上げます。

今回の一寸法師ラリーは76団担当で、下記のとおり開催することになりました。

各団とも、日ごろの腕前を発揮していただく良い機会と思いますので、ふるって御参加下さい。

＜参加者＞ 松原氏 <結果> 総合優勝……  
記  
はよしにものす

- 集合日時 : 4月26日(日) 午後1時
- 集合場所 : 市立大將軍小学校グラウンド  
(単での参加はできません)
- 参加対象 : ローバー年代以上の全スカウト関係者
- 内容 : コンパス・読図を主体とした、個人対抗のOL形式小ハイキング
- 持ち物 : シルバコンパス(必需品です) 筆記用具  
マップケース又はバインダー  
その他ハイキングに必要なもの
- 服装 : 正服ただし副・略帽可  
正服の無い方はネックチーフを着用の事
- 参加費 : 無料
- その他 : 午前10時現在雨天の時は中止  
連絡先は 461-1899 今達まで

76-800 那智 山 山 山 山 山  
-76-

河原 野原の山頂まで登る  
登山道は 山頂まで登る。

河原 山頂まで登る  
登山道は 山頂まで登る。  
山頂まで登る。

山頂まで登る  
登山道は 山頂まで登る。

山頂まで登る  
登山道は 山頂まで登る。

BS  
1. 山頂まで登る  
(山頂まで登る)

- 山頂まで登る
- 山頂まで登る
- 山頂まで登る
- 山頂まで登る

山頂まで登る  
登山道は 山頂まで登る。

# ROVER 隊通信

## <1> 5月隊集会

- On 10th of May in 1991 19:30 pm
- House 長休
- 出席者 大坂隊長、松原、山川、五十嵐

• 山川 ゴールデンウィーク中に奈良県にある研究所に3泊4日入所してきた。久しぶりに隊員の立場に戻れたことが、今後リーダをする上で役に立つので良かったが、技能のトレーニングが少なかったのが残念だった。また期間が短いので十分工作物が作れなかった。帰路にエジプトにうしろ指をさされたのが惜しかった。

• 五十嵐 最近「日本人はリーダーシップが足りない」といふ感じがする。現在、運営に熟知しているスタッフがいないので「リーダーはコレコレ」ばかりでバカである。BSの規律が乱れているからである。年をとり、だんだん欠点を教えてくれないので、それに気がつかずおぼろげに気がつけろべきだ。近頃は本部に矛盾を感じる。提案...どこかに行こうか? たとえば比良山、ポートピア、専売公社 静かな所、ジントもしたい。

• 松原 4/26にRS76団主催の一寸法師ラリー(和エンターテインメント)に一人参加した。行く前は「やだ」だったが、行ってみると意外おもしろかった。参加者はほとんどが「巨大ロボ」で、他団はたったの3人であった。地図を十分読めないRSがいたのでもう少し、ホストを周回せよ。このころおもしろいので、皆も参加しよう。

次回 6月14日(日)、19:30 House 長休

## 「日本人はよくローダーリング」 ——序論と馬——

最近の流行言葉に「日本人はよくクリスマス」という語句があるが、これには特にこれといった使命感や目標、人生観や価値観がはびこる思想、趣味がはびこり、それゆえにクリスタルの器にもう一人は一言するに特徴がはびこり、自身がスッポンポンのすぎ透った人固を表明している。それゆえにこのクリスタル人間は現代の「多様な価値観見方」の中で「自分」を「存在」を見失いやすい。

これらの問題をテーマにするには「ローダーリング」の中で「キリスト教(思想)」と「騎士道」をもって解決している。ローダー人間は、幸福になるために、また「発展」の国を実現するために生きているのであり、他人の中に宿っている「神の片影」である「愛」を奉納すること、すなわち「奉仕」と「生」をたのむことの二つを通してそこに達することができると述べている。馬の意においては、この考え方は「騎士道」正義、正道、愛国心、独立心、奉仕といった価値基準をつり加え自分だけの「物の見方、考え方」で問題を解決しているのである。

また、団報(33号)の裏にプリントしてある安楽智恵さんの詩を讀むと、彼女が身体障害者であるにもかかわらず「幸福でいっぱい」になって、他人をも励ます余裕を身につけていることがわかる。では「幸福」を感じているのだろうか? その答えは「ことわられたから、またも幼稚園に入れ、また、すばらしい先生に会うことができた」というフレーズにあると思う。彼女は小学校の三年生ですが、物の見方、人生観の一部を身につけているのである。

この二人のように自分だけの「物の見方、考え方」を持っている人は、たいてい人の選抜(多様性)を現代の中にあつても自分を見失うことはなく、障害は他人ら不幸の種とはならず、いつまでも幸福で「積極的」な人間になれるのだと思う。

1991年6月4日発行  
記録、発行 Natubara

[6月 隊集会 報告]

昭和 56 年 6 月 14 日 (日) 19:30 ~ ハウス長休

1) 近況 報告. 大教, 河原, 五十歳, 山川, 中西. (出席)

☆ 大教 (敬) ... 西蒲田にある美術専門学校に通って  
グラフィックデザイン や デザイン など している。  
朝の通学 (阪急) が、ラッシュ時で大変!

☆ 河原 ... キャンプ地の選考や、2年めの授業 (コナ導) で  
忙しかた。今は生産管理に力を入れた。アплика-ション  
をやっている。B.S のキャンプ地と日程が決定!  
(乗話, 8/19 ~ 24)。と3日 8/7 ~ 10 に京都和歌山  
があります。誰か分伝いに来て下さい! お願!

☆ 五十歳 ... 仕事をしたあとの休日が本当に貴重に思えるように  
なった。

☆ 山川 ... カブクリーのメンバーとやらせも55名。76団の人が多く  
おもしろい人がいっぱい。38団では赤口馬車作成。  
今日は、バンドの演奏に熱中。8月末にコンサートとやる。

☆ 中西 ... 大学入学時のレントゲン検査で、自然気胸 (左胸側)  
というのに気づいていることがわかった。何ぞあったのかは  
全くわからない。結局、1日早く入院し、安静にしていると  
よくなりました。その33日ほど休まりました。おかげで心配がけ  
りません。

※ 次回の隊集会 7月12日 (日) 19:30 ~ H.長休

..... ちよとて 一言 .....

一度病院へ入院しては二つのあふ人といふので(うが)入院して  
最初の二三日間の17. 11. 5 完治できる病員であった。  
それ以来にのびのびといふとこで 意気消沈して、迎いを動き回、  
3日 気がたてと2日おまじに ベッドの中でじと寝ることもして。  
寝てはつけおはたすたの17. せとと得たといふと、気がたてが  
病気にたつてしまうのにはたまりません。

この日は、看護婦さんと同じ部屋の他の患者さんには  
たつておんといふと助けられる。入院しては二つのあふ人といふと  
自分のことを病人だと認めるといふたうにたつた。気がたてがたつた  
楽にはたつた。私の場合でも、大学のレントゲン検査が  
あつたといふ。何を知らずか普通に生活してはたつたのでから、  
別に何を気に病む必要はたつたので。たつた。病気が  
楽にはたつたといふとたつたといふと。

このように病気にたつたといふと、自分が自己暗示(いふた)の  
たつたといふとたつたといふとたつた。このたつた。スルイ事例  
が「ローバリング」ツウツウツウの中。致命的な伝染病に  
かかると、奇跡的に助かるといふたといふとたつた。  
3とたつた。看病もせずにはたつたといふとたつた。看病人  
に腹がたつた。たつたといふとたつたといふとたつた。たつたといふと  
たつたといふと。

この女士のうに人間の精神力が非常に強大にはたつた  
のは、驚くべきことだ。何をたつた「支え」にはたつたといふと  
あつた。あつたといふとたつた。

~~~~~ 中西 ~~~~~

発行日 7/6. 報告者 中西 でした.....  
キリギリにはたつたといふとたつた!!

7月度隊集會 言記録

この言記録は 担当: 西村浩 君が 友りに  
いっしょに書い。隊長が代筆いたしました

日時 — 1981年 7月 12日 (日) 19:30 ~ 22:00

1日2長休

出席者 — 隊長・石塚・西村

1 例に於て 近況報告

西村浩

3ヶ月ぶりの 出席です。campは 思ひ通りに  
来。反前前基調 願と team spirit  
出席した。大勢に到りて 隊の 活動に  
習熟に 進んで居る。

<クラブ> TUTTI FRUTTE SEASON SPORTS CLUB  
横社会が 満ちたクラブに 封建的 活動に  
活動 10/10 舞会。隊員と 上 階 階 階  
に 行。 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市  
7/26 ~ 29 避暑地に 合宿した。  
車に 入。  
総 第 40 号。 的 的 的 的 的 的 的 的 的 的。  
入。  
入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。

<入> 副長補 (B.S) 今年 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。

と云う 活気が 出。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。  
感。 Camp 入。  
入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。  
入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。

石塚

一部に 入。  
<二部 (2日間)> 入。  
入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。  
入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。  
入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。  
<部> 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。

隊長

- 学生時代 (54年以前) は 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。
- 長年の 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。
- ① クラブ活動 (軽音楽部) ... 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。
  - ② 国際キャンドゥの派遣 (米国) 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。
  - ③ 卒業研究 - 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。

夏. R.S.A - 入。  
入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。 入。

1981年5月25日発行  
N. Matabaras

# ROVER 隊通信

## <1> 8月隊集会

☆ August 6, 1981 8:00 p.m ~ 10:30 p.m

☆ House 長休

☆ 出席者: 大藪(隊長), 松原, 五十嵐, 西村, 大藪, 中西

## <2> 会計報告

1. 報告と説明

2. 隊費

3. 隊費未納者について: 今後「ROVER」隊通信の発行を中止することに決定!

## <3> 青空隊集会

・8月ほむりなので、9/19~20に1泊をする。

・担当: 中西(幹事), 山川(副)

## <4> 一言コーナー

- ・西村 --- BSに続けて参加したい。 中西 --- 会計係をしたいの決定!
- ・大藪 --- " 〇河原 --- 隊費、多私、未私者への不平
- ・五十嵐 --- 仕事が忙いのでBSに参加 〇 --- 録を是正してほしい。

## <5> 乗車の方針

- ・山川 --- ローバキング、ツヤクセスの輪読を続けた方が良い。
- ・隊長 --- RS通信に載せている読後感想やエッセーを1冊の本にまとめてみたら面白いと思う。

次回 9/19(土) 上進式(時間未定)後 1泊



## 変な外人と人元張って

ある日の夕刻、ジパングに、つっかけという軽装で川の土手をぶらぶら散歩している時、何からネタを絞めたワイシャツ姿の外人が1人ギョギョと自転車をこぎながら近づいて来た。通過する時にトラックと視線が合い、何となく、ヤバイなと思ったがその手を歩いていると、案の定右側に止り、流暢だが鼻にかかった変なアクセントで「エントウヨロシイデスカ?」という声がかた。振り向くと細面・ビスマツした大学生らしい外人がニコニコしながら立っていた。「ええ、いいですよ」と即座に答え、シマツトと思ったが手あいいれ思いつき顔を赤くこぼした。(ほんまお人良しなやつ)「ジョセフ・スミス・ヨブ・ジデスカ?」「ええ」の「ヨブ」が「ベイノカタデスカ?」「ア」と答えた先の瞬間、自称変な外人はこれにはオドオドとらしく目を見開いて、道を振った。ナンノこで取り付かざるかと、胸を張って道に横断すると「エントウ、ワタシ、二年前カリフォルニア大学で学ば、もう二年前モニホンニシデスカ」と口で「ジョセフ・スミス・ヨブ・知デスカ?」「ええ」と立て続けに尋問されたので、んじとて、物知りありせん。何んか言おうかと思ったが、餘程良く知りませんと答えていた。再びICBMが飛んで来た。「エントウ、オレはエントウ・ヨブ・デスカ?」「ええ」といって、四糸に立ってアンケートを、何んかやっているやつらの新年をうらやまの目で見ていた。「ええと、友人と家族を失った。ええと、」屋を御供来て、ありたりはこれか思い浮かぶ。アツアツしている、ヤバイなと思ったから、たにみかりて来た。「ジョセフ・スミス、マヤ文明、デスカ文明?」信じてた、シカウツキリスト教ニシテ、ヒロタマデスカの「ああ(知らずいせに!)」のシカウツワタシ、彼ノツビエツツエニシマタ、ジデニホンニシマタ、ミナカンガ幸福ニナルヲウニ、二年前カウツウヲシテマシタ」と熱っぽく言っていた。この話をFTVで見たTV24hのフリーカ何んかの番組を思い出していた。

武道會館の中は満杯で外ではズラッと列をなしている光景が凄んだ。何人かの白刃の堪能人が並んでいて、子供たちがピンカワ人かに入れた小金を年度して、熱っぽくアツアツと、いらいたしをして、言って判れ際に、若くは握りかたしているやつだ。テレビカメラは溢れる様子をさして、年度身体障害者の模様を写出し、次にこれ「カ」これ「カ」という風に列を何人か、後付けの上に置く場所をいい様にズラッと並んだ。小金の入ったビンの山を「グロス」アップし、最後に「現在の金客は3億4千2百万



(1) 昭和56年度における

1) 隊集会の形式

- ひびつぎ 月1回、第2日曜日の夜。
- 報告書は同じくその隊集会の記録者(総務)が記録しコメントを書いて各隊員に郵送する。
- RECOVERING TO SUCCESS を講読して隊集會に持参。これはロー隊のテキスト?

2) 臨時隊集會

新入隊歓迎、追出しなどの一泊。団行事など。

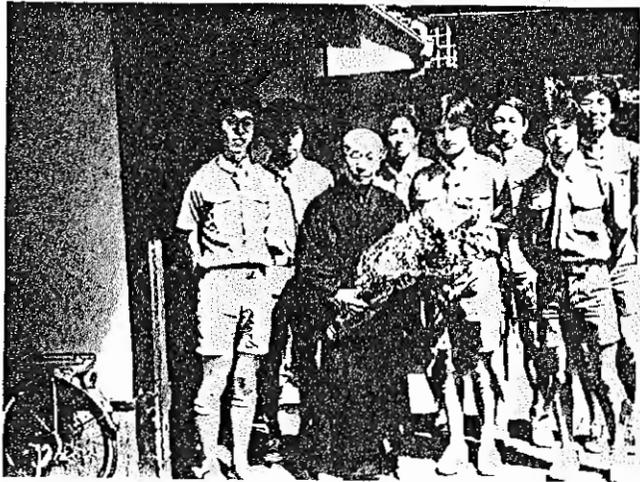
新入隊スカウト、卒業スカウト  
役割分担は未定。

“1年をふりかえって” 山川 勝也  
掛村チーフがロー隊を卒業するというので(これはあたりまえのことだけど) 新チーフを決めるということになり、それを譲りかかってもらうかという事になって、僕はここでキツトという感じでなんの気なしにチーフに立候補して、一発1番で当選しました。ということもチーフという仕事をやり初めました。やっていてそれほど他のスカウトと変わりなくやっていました。今から考えるとその当時は隊長と花原君が主になってやっていたような気がしたので、ただ毎回集會のとき司会をやっているだけではあかぬちやうかすかと思っていました。集會にはよく出席したけど何か大きな集會(たとえば年の瀬大集合や一泊など)の準備などは正直いってめんどうさがっていました。またチーフとして一生けん命がんばるとそのチーフの個性が隊に現れて特ちょうのある隊ができるのではなかなかなと思います。しかしこの一年間山川チーフは38団ロー隊を特ちょうある隊にしたように思いました。

指は文章でよみません。



(203)



3/23(日)

小川先生の  
誕生パーティ  
共々同席

FUJICOLOR COO 81

小川先生の第100回  
目の誕生日に。  
今年はRS隊の誕生  
を祝いし。



FUJICOLOR COO 81

6 2010

- (1) 前年 年次総会 資料 〇心隊報告
- (2) 昭和55年度 38回RS隊 会計決算書
- (3) ROVER 隊員名簿

〇-バ隊 活動報告(昭54年度)・活動計画(昭55年度)

|                 |                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                           |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 活動の指針           | 1. 月一回の隊集會<br>(初2日 19:30)<br>2. 隊集會の報告書<br>全員に配る<br>(記録・西2部系は持ち<br>回り)<br>3. Re-cycle 運動の継<br>続(予定)。                                             | 圧の維持は<br>困難<br>である。<br><9/21/80 隊集會決定>                                                                                                                                    |
| 内容              | 1. 隊集會は 55年2月<br>以降 毎月 計 8回<br>開催するに決まっています。<br>(平均出席者 5名+隊長)<br>2. 隊集會以外の活動は<br>- 個人として a.o. (バ) の<br>- Re-cycle 運動<br>として活動する。その成果は<br>未知数である。 | 1. 38団の各隊活動の<br>間接的支援<br>* 技術的アドバイス<br>* 行事のサポート<br>* 費用上のサポート<br>(5/20/80? 具申時の<br>未定)<br>2. 「真の幸福を求めて」<br>決してハワイに行くのは<br>ありません。苦難の道は<br>進む予定です。<br>3. 10/11,12 鹿児島 CAMP |
| 役員<br>会計<br>その他 | 掛本村<br>松原<br>堀井 確保・連絡・記録<br>(その他は持ち回り)                                                                                                           | 山川<br>松原<br>同左                                                                                                                                                            |
| その他             | 登録者からは 隊活動の出席・欠席にわかちがき 5名<br>隊員以外に2名ある。そのほか<br>1名ある 隊活動のサポートは<br>進めよう。                                                                           | 同左<br>+<br>学生(倉間・後間)・尚仲香<br>温人 等がサポートの隊員<br>何名か、活動のサポートは<br>35か ??? 延期                                                                                                    |

RSL 大藪俊一

京都第38回 〇-バ隊 昭和55年度  
 〇 活動報告書 〇

1981年9月10日 発行

<作成> 山内啓・松原・大藪俊一  
 <責任者> 上の人たち